

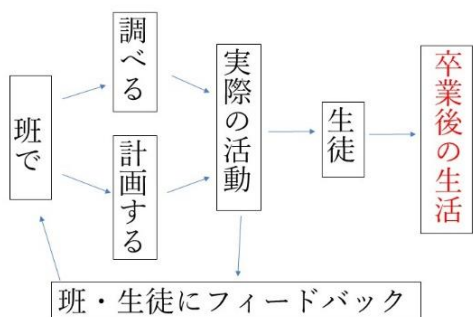
社会生活 地域校外学習(2年生)

仲間と協力しながら地域の施設を利用しよう

～役割遂行を目指した班編制の工夫～

小出特別支援学校川西分校(高等部) 高橋 嘉久

校外学習で目指すこと



班編成の考え方

- ① 自分たちで目的地までの移動計画を立てる。
- ② 伝統や文化、社会で働く人々の姿を見る。
- ③ 余暇の幅を広げられるようにする。

↓

計画・協力・行動

※班長、地図係、時計係、記録係を班員が担う。

係の役割

班長

・最後尾を歩く。地図の見方や目的地までの方向などをアドバイスする。

地図係

・地図を頼りに、目的地まで先頭を歩く。

時計係

・目印になる所までの所要時間を計り報告する。

記録係

・所要時間を記録し、そのポイントの写真を撮影する。

当日の活動

班長は地図係と現在地を確認し、進行方向を決める相談をします。



記録係は、目印になる物を写真に記録し、報告された所要時間を記録します。



時計係は、出発から目印になる所に到着するまでの時刻から所要時間を求め、報告します。

地図係は地図を道路や進行方向に合わせるように回したり、目印を探します。



事後学習



市役所
(自動車学校班)



自動車学校
(自動車学校班)

(電車体験班)



(電車体験班)



地域学習
(地域を知ろう班)

成果と課題

成果

- ・現在地の確認と目的地まで進行方向を、班内で意見を交わして確認することができた。
- ・教師が交差点などで「今いるところは地図上でどこ？」と地図を示すと、通過してきた周辺の建物などの手掛かりから、指で示すことができた。
- ・通過ポイントで、「これは目印になる！」と特徴的な建物などを写真に撮り、地図上に記録できた。

課題

- ・地図や略図の情報を読み取れるようにする。
- ・地元ではないところでの体験が少ない。